

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年8月13日

【四半期会計期間】 第22期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 株式会社 テイクアンドギヴ・ニーズ

【英訳名】 TAKE AND GIVE . NEEDS Co. , Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 岩瀬 賢治

【本店の所在の場所】 東京都品川区東品川二丁目3番12号

【電話番号】 03-3471-6806

【事務連絡者氏名】 取締役 谷田 昌広

【最寄りの連絡場所】 東京都品川区東品川二丁目3番12号

【電話番号】 03-3471-6806

【事務連絡者氏名】 取締役 谷田 昌広

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第21期 第1四半期 連結累計期間	第22期 第1四半期 連結累計期間	第21期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (百万円)	15,801	16,012	66,871
経常利益 (百万円)	719	821	3,900
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)	480	468	2,283
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	275	439	2,234
純資産額 (百万円)	21,217	23,431	23,181
総資産額 (百万円)	54,750	59,722	57,130
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	37.06	36.19	176.33
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	38.4	38.9	40.2

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 業績の状況

「人の心を、人生を豊かにする」を企業理念として掲げる当社グループは、多様化するお客様のニーズを汲み取り、新たな市場・価値の創造をすべく事業を展開しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、国内ウェディング事業、海外・リゾートウェディング事業共に概ね計画通りに進捗いたしました。国内ウェディング事業は、TRUNK(HOTEL)やリニューアル店舗が、引き続き好調であり、更に直営店の招待人数の増加により、挙式披露宴単価が上昇いたしました。海外・リゾートウェディング事業は、外部環境の変化や、組織拡大に伴う管理、教育体制の遅れにより、国内マーケットの施行組数が減少いたしました。台湾、香港、中国本土をターゲットにした東アジアマーケットは、販売拠点数の増加に伴い、堅調に推移しております。

以上の結果、売上高160億12百万円(前年同四半期比1.3%増)、営業利益8億54百万円(前年同四半期比0.4%減)、経常利益8億21百万円(前年同四半期比14.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億68百万円(前年同四半期比2.4%減)となりました。

なお、事業別の状況は以下のとおりであります。

国内ウェディング事業

当社グループの主力事業である国内ウェディング事業におきましては、採算性の低い2店舗(3会場)閉店にも関わらず、TRUNK(HOTEL)やリニューアル店舗が好調に推移し、施行組数は前年同四半期と同水準を維持いたしました。また、招待人数の増加、婚礼商品の販売強化により、挙式披露宴単価は、前年同四半期と比較して83千円上昇し、更に、内製化による継続的な収益改善効果により、売上総利益率が改善しております。また、広告宣伝費、修繕費などの計画を見直し、これらの費用の発生が後倒しとなりました。その結果、売上高133億99百万円(前年同四半期比1.9%増)、営業利益17億35百万円(前年同四半期比28.5%増)となりました。

海外・リゾートウェディング事業

海外・リゾートウェディング事業におきましては、国内マーケットが、旅行代理店からの送客減少とともに、新規出店による競争環境の激化により、施行組数が減少いたしました。また、直営サロンでの受注増加を目的に、直営販売店の強化を図り、新宿サロン拡張、広島サロン開業による費用が発生しております。一方、東アジアマーケットの施行組数は順調に推移したため、売上高22億27百万円(前年同四半期比0.5%増)、営業損失3億60百万円(前年同四半期は営業利益10百万円)となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,912,000
計	24,912,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,059,330	13,059,330	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株で あります。
計	13,059,330	13,059,330		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年6月30日		13,059,330		5,264		5,210

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 107,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,806,200	128,062	
単元未満株式	普通株式 145,530		
発行済株式総数	13,059,330		
総株主の議決権		128,062	

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社テイクアンドギヴ・ ニーズ	東京都品川区東品川二丁目 3番12号	107,600		107,600	0.8
計		107,600		107,600	0.8

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,782	5,401
受取手形及び売掛金	842	900
営業貸付金	3,287	3,120
商品	203	206
貯蔵品	42	30
前払費用	925	908
その他	659	607
貸倒引当金	96	96
流動資産合計	12,647	11,079
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	35,084	35,243
減価償却累計額及び減損損失累計額	16,878	17,280
建物及び構築物(純額)	18,205	17,962
機械装置及び運搬具	183	179
減価償却累計額及び減損損失累計額	171	167
機械装置及び運搬具(純額)	12	11
工具、器具及び備品	6,648	6,868
減価償却累計額及び減損損失累計額	5,241	5,425
工具、器具及び備品(純額)	1,407	1,442
土地	11,207	15,595
リース資産	4,571	4,571
減価償却累計額及び減損損失累計額	1,164	1,244
リース資産(純額)	3,406	3,327
建設仮勘定	92	105
有形固定資産合計	34,331	38,445
無形固定資産		
のれん	121	125
その他	677	635
無形固定資産合計	798	761
投資その他の資産		
投資有価証券	21	21
長期貸付金	168	149
長期前払費用	184	191
繰延税金資産	2,920	3,041
敷金及び保証金	6,113	6,085
その他	128	132
貸倒引当金	183	183
投資その他の資産合計	9,352	9,436
固定資産合計	44,483	48,643
資産合計	57,130	59,722

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,594	2,063
短期借入金	990	2,900
1年内返済予定の長期借入金	5,741	5,863
未払金	2,992	1,752
未払法人税等	736	446
賞与引当金	702	716
その他	3,327	3,270
流動負債合計	17,084	17,013
固定負債		
長期借入金	10,994	13,506
長期リース資産減損勘定	22	12
長期リース債務	3,730	3,662
資産除去債務	1,202	1,205
その他	914	891
固定負債合計	16,864	19,277
負債合計	33,949	36,290
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,264	5,264
資本剰余金	5,208	5,208
利益剰余金	12,568	12,840
自己株式	218	211
株主資本合計	22,822	23,102
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	0	12
為替換算調整勘定	125	107
その他の包括利益累計額合計	125	119
新株予約権	6	6
非支配株主持分	226	203
純資産合計	23,181	23,431
負債純資産合計	57,130	59,722

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	15,801	16,012
売上原価	5,878	5,963
売上総利益	9,923	10,049
販売費及び一般管理費	9,066	9,195
営業利益	857	854
営業外収益		
受取利息	1	1
受取保険金	0	25
為替差益	-	12
その他	12	11
営業外収益合計	14	51
営業外費用		
支払利息	89	80
為替差損	56	-
その他	6	2
営業外費用合計	151	83
経常利益	719	821
特別損失		
減損損失	-	65
臨時損失	-	40
特別損失合計	-	105
税金等調整前四半期純利益	719	716
法人税等	245	269
四半期純利益	474	446
非支配株主に帰属する四半期純損失()	5	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	480	468

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	474	446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	85	13
為替換算調整勘定	113	20
その他の包括利益合計	199	7
四半期包括利益	275	439
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	296	462
非支配株主に係る四半期包括利益	21	22

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結損益計算書関係)

臨時損失

連結子会社において、不測の事態により営業用パンフレット等の廃棄及び再作成が必要となったための臨時損失であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	721百万円	724百万円
のれんの償却額	7	7

(株主資本等関係)

1. 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月25日 取締役会	普通株式	194百万円	15円	2018年3月31日	2018年6月12日	利益剰余金

2. 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月24日 取締役会	普通株式	194百万円	15円	2019年3月31日	2019年6月12日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円)(注)	合計 (百万円)
	国内ウェディング 事業 (百万円)	海外・リゾート ウェディング事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
a. 外部顧客に対する売上高	13,151	2,216	15,367	434	15,801
b. セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	15	24	221	245
計	13,159	2,232	15,391	655	16,047
セグメント利益	1,349	10	1,360	72	1,432

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融・クレジット事業、旅行事業、保育事業等を含んでおります。

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計(百万円)	1,360
「その他」の区分の利益(百万円)	72
セグメント間取引消去(百万円)	1
全社費用(百万円)(注)	576
四半期連結損益計算書の営業利益(百万円)	857

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円)(注)	合計 (百万円)
	国内ウェディング 事業 (百万円)	海外・リゾート ウェディング事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
a. 外部顧客に対する売上高	13,399	2,227	15,627	385	16,012
b. セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	0	12	400	412
計	13,411	2,227	15,639	785	16,425
セグメント利益	1,735	360	1,374	80	1,455

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融・クレジット事業、旅行事業、保育事業等を含んでおります。

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計(百万円)	1,374
「その他」の区分の利益(百万円)	80
セグメント間取引消去(百万円)	3
全社費用(百万円)(注)	604
四半期連結損益計算書の営業利益(百万円)	854

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	37円06銭	36円19銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	480	468
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	480	468
普通株式の期中平均株式数(株)	12,952,937	12,952,899
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

(剰余金の配当)

2019年5月24日開催の取締役会において剰余金の配当につき次のとおり決議いたしました。

- | | |
|--------------|------------|
| (1) 配当金の総額 | 194百万円 |
| (2) 1株当たり配当金 | 15円00銭 |
| (3) 基準日 | 2019年3月31日 |
| (4) 効力発生日 | 2019年6月12日 |

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月13日

株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	秋	山	高	広	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	植	草	寛		印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社テイクアンドギヴ・ニーズの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。